

和歌山縣報

第六百七十一號

大正八年八月八日
金曜日

六 訓令

○和歌山縣訓令第二四號

郡役所

市役所

町役所

明治四十年三月訓令第十六號罹災救助基金法施行規則取扱手續左ノ通改正ス

大正八年八月八日

和歌山縣知事 池松時和

罹災救助基金法施行規則取扱手續

第一條 施行規則第三條ニ該當スル災害アルトキハ町村長ハ即時其ノ概況ヲ郡長ニ報告シ郡市長ハ其ノ實況ヲ調査シ救助ノ必要アリト認ムルトキハ災害ノ狀況、被害ノ區域、戸數人口並救助ニ要スル概算額(書式第一號)等ヲ具シ知事ノ指揮ヲ受ケ救助ヲ爲スヘシ但シ緊急ヲ要シ知事ノ指揮ヲ受クル邊ナキ場合ニ於テハ直ニ救助ニ着手シ速ニ其ノ狀況ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第二條 町村長ニ於テ郡長ノ處置ヲ俟ツノ違ナク避難、焚出及治療ノ必要アリト認ムルトキハ應急救助ニ着手シ速ニ其ノ事由ヲ具シ郡長ノ指揮ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ郡長ハ前條ノ手續ヲ爲ス

第三條 罹災者ニ於テ救助ヲ爲スヘキモノハ縣稅戶數割ノ免除者又ハ賦課ヲ受クル等級カ末等ヨリ

通ルコト其ノ町村ニ於ケル賦課等級總數ノ十分ノ二ノ範圍内ニアルモノ若ハ之ト同一ノ生活程度ニアルモノ及其家族ニ限ル但シ焚出救助ハ此ノ限ニアラス

第四條 罹災救助ハ左ノ各號ニ依リ施行スルモノトス

一 避難所ハ罹災者雨露ヲ凌グコト能ハサル事實アリト認ムル場合ニ限り之ヲ設クルモノトス

二 焚出及食品給與ハ罹災ノ爲食糧ヲ得ルコト能ハサル者ニ對シ之ヲ給與ス

三 被服ハ罹災者ニ於テ自辨シ又ハ他ヨリ給與ヲ受クルコト能ハサルモノニ對シ給與ス

四 治療救助ハ災害ノ爲傷疾疾病ニ罹リ又ハ罹災ノ際現ニ傷疾疾病ノ事實アル者ニシテ罹災ノ爲

自ラ治療スルノ資力ナキ者ニ對シ施行ス

五 小屋掛材料ハ罹災ノ爲住家ヲ失ヒ他ニ起臥スル場所ナク且自ラ小屋掛ヲ爲スノ資力ナキ者ニ之ヲ給與ス但シ之カ材料ハ丸太、板、竹、杉皮及繩等ノ類トス

六 就業資料及器具ハ罹災ノ爲之ヲ失ヒ爲ニ業務ヲ營ミ難キ事實アルモノニ對シ左ノ標準ニ依リ、

器具又ハ資料ヲ給與ス

(イ) 器具ハ亡失シタルモノノ内差當リ其職業ニ必要ナル品一通トス

(ロ) 種穀ハ其ノ季節ニ依リ必要ナルモノニ限ル

(ハ) 營業其ノ他資料ハ從來ノ業務ヲ再ヒ開始シ得ヘキ程度トス

七 學用品給與ハ差當ニ必要ナルモノ一通トス

第五條 罹災救助基金法第十四條ノ五ニ依リ金銭ヲ以テ給與セムトスル場合ハ救助施行前知事ノ認可ヲ受クヘシ

(書式第一號)

災害救助費概算額

一金 何圓也

内

金 何圓也

焚出救助費(何月何日ヨリ何日間何人分)

金 何圓也

避難所費(何ヶ所)

金 何圓也

何々(何々、施行規則第四條ニ依リ算出ノ基礎ヲ明ニスヘシ)

右ノ通ニ候也

○和歌山縣訓令第二五號

明治四十年四月訓令第十七號罹災救助金仕拂規程左ノ通改正ス

内務部	郡役所	市役所	町村役場
-----	-----	-----	------

大正八年八月八日

和歌山縣知事 池 松 時 和

罹災救助金仕拂規程

第一條 郡市長ニ於テ罹災救助金品ノ送付ヲ受ケタルトキ又ハ物品ヲ購入シタルトキハ書式第一號ノ救助金品出納簿ヲ設ケ救助ニ要スル現金又ハ現品ノ出納ヲ登記スヘシ

第二條 罹災救助ニ關スル現金及現品ノ出納証明ハ書式第二號ニ依リ受拂計算書ヲ調製シ証憑書類ヲ添ヘ救助ノ施行ヲ終リタル日ヨリ十日以内ニ知事ニ提出スヘシ

郡市長ニ於テ救助現金ノ前渡ヲ受ケ殘餘ヲ生シタルトキハ前項受拂計算書ノ提出ト同時ニ之ヲ返納スヘシ

第三條 前條第一項ニ依リ証憑書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一米穀及給與品購入其ノ他現金支拂領收証書

一罹災者ノ現品又ハ現金領收証書

一焚出給與明細書(書式第三號)

一治療費ニ關スル醫師ノ証明書

一罹災者ノ縣稅戶數割又ハ家屋稅負擔額調書

第四條 罹災救助金ノ出納及仕拂証明ニ關シテハ前各條ニ規定スルモノノ外總テ本縣會計事務規程ニ依ル

(書式第一號) 救助金品出納簿

現金ノ部

年月日

摘要

要

受

拂

残

備考 現金ノ受拂ハ前渡ヲ受ケタル救助費ノ各費目毎ニ口座ヲ設ケ整理スヘシ

物品ノ部

年月日

摘要

受入高

金額数量

給與高數量

残數量

何石何斗何某ヨリ買入

一石ニ付何圓

自何日何避難所何村何某外
至何日何避難所何人へ給與

計費

備考 給與品ノ記入之ニ倣ヒ種目ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ記入シ特ニ小屋掛材料ニ在リテハ杉丸太

(長何間 末口何寸) 又ハ竹板等ノ品目毎ニ區分記入スヘシ

(書式第二號)

何年何月何日
何々々々 害 罹災救助金受拂計算書

科 項	目	受入金高	仕拂金高	戻入高	残高
救助費	避難所費				

内 譯
避難所借入費

種 別	日	數	單 價	金 額
何村大字何 何寺院	自何年何月何日 至何年何月何日			
何村大字何 何某宅				
計				

避難所建築費

材 料 種 別	數	量	單 價	金 額
長何間 杉丸太(又ハ) 未口何寸 何々				

救助費				食料費				計				板(杉又ハ何々) (何分板)	
品目				數量				單價				金額	
白米(何村大字何避難所用焚出米)				自何月何日何日分 至何月何日何日分 此延何人分				〇、〇〇〇				〇、〇〇〇	
白米(現品給與ノ分)				自何月何日何日分 至何月何日何日分 何延何人分				〇、〇〇〇				〇、〇〇〇	
何々				〇、〇〇〇				〇、〇〇〇				〇、〇〇〇	
計				〇、〇〇〇				〇、〇〇〇				〇、〇〇〇	

救助費

小屋掛費

內
部

計	二坪ノ分何戸	一坪半ノ分何戸	一坪ノ分何戸	坪數及戸數	
				長何間 末口何寸	坪數
				金 額	杉九太
			何 本	金 額	杉何分板
			何 板	金 額	何々
				金 額	何々
				金 額	金 額 計

以下被服費、就業費、學用品費、運搬用具費、人夫費モ之ニ倣ヒ可成算出ノ基礎ヲ詳細記載スヘシ
代料ヲ以テ給與シタルトキ亦同シ

(舊式第三號)

自何年何月何日
至何年何月何日
焚出給與明細書

焚出米高

一何々(副食物)何程

內
譯

白米何石何斗

何月何日給與高

一人一食何合何人

何々(副食物)何程

一人一食平均何價

給與ノ人員及度數内釋

	何日	何日	何日	何日	何日	收容家 族人員	住所氏名(戸主)
十三才以上	朝	晝	夕	朝	晝	夕	
七十才未滿	人	人	人				
三十才未滿及							
七十才以上							
計							

右ハ大正何年何月何日何災ニ付何村大字何避難所へ收容セル罹災者ニ對シ前記ノ通給與シタルモノニ相違無之候也

年
月
日

官職氏

名印

備考

一 收容家族人員ノ欄内ニハ現ニ避難所ニ收容シ焚出救助ヲ爲シタル一戸毎ノ人員ヲ記入シ戸主モ其ノ家族人員ニ算入スヘシ
一 焚出給與ノ日數長キニ涉リ一戸ノ分一行ニ記入スルコト能ハサル場合ハ二行ニ涉リ掲載スルカ又ハ五日毎ニ打切り作製スルヲ要ス

○和歌山縣告示第二三九號

本縣關糸業法施行手續第一條ノ蠶業取締所岩出支所ハ大正八年八月十一日ヨリ其ノ事務ヲ開始ス
大正八年八月八日

和歌山縣知事 池松時和

○辭令

○大正八年七月二十九日

和歌山縣東牟婁郡書記 大家松之助
任和歌山縣屬 給八級俸
內務部學務課勤務ヲ命ス

多田一郎

大正八年和歌山縣立工業學校水泳教師ヲ囑託ス
手當貳拾圓ヲ給ス

○大正八年七月三十一日

西村君子

臨時和歌山縣雇ヲ命ス日給貳拾錢ヲ給ス
內務部勸業課勤務ヲ命ス

黑江警察分署縣出納吏ハ本月末日ニ限リ廢職ニ付明治三十三年內務省令第七號第十七條ニ依リ
檢査ヲ命ス

正七位 田村和夫

地方改良吏員ヲ命ス
年俸千圓ヲ給ス
內務部地方課勤務ヲ命ス

和歌山縣海草郡書記 山本英男

(各通) 同 那賀郡書記 田村勝之丞

依願免本官

同西牟婁郡書記 有本米藏

有本與一郎

和歌山縣立粉河高等女學校教授ヲ囑託ス

月手當四拾圓ヲ給ス

和歌山縣西牟婁郡串本町立
串本實業學校教諭

巖本生次

願ニ依リ職務ヲ免ス

鹿兒島縣立第一鹿兒島中學校
教諭兼舍監 富楠雄

和歌山縣師範學校教諭ニ任ス

三級俸ヲ給ス

依願解雇

雇 關口兵助

檢稅吏員 志村資朝

內務部地方課勤務ヲ命ス

和歌山縣立粉河高等女學校
教諭 横巻歌

七級俸ヲ給ス
願ニ依リ職務ヲ免ス

○大正八年八月一日

警部 貴志得彌太

黑江警察署分任收入官吏ヲ命ス

松場勢太郎

臨時和歌山縣立田邊中學校教授ヲ囑託ス

月手當參拾圓ヲ給ス

石田洲男

臨時和歌山縣蠶業取締吏員ヲ命ス

日給壹圓拾錢ヲ給ス
蠶業取締所勤務ヲ命ス

田村勝之丞

臨時和歌山縣蠶業取締吏員ヲ命ス

日給八拾錢ヲ給ス
蠶業取締所橋本支所勤務ヲ命ス

臨時和歌山縣蠶業取締吏員

垣内茂左衛門

御用濟ニ付職務ヲ免ス

和歌山縣巡查 前田慶三

任和歌山縣警部補給月俸貳拾貳圓
警察部警務課勤務ヲ命ス

和歌山縣巡查 成相大太郎

任和歌山縣警部補給月俸貳拾貳圓
和歌山警察署勤務ヲ命ス

黒江警察署長ヲ命ス

○大正八年八月二日

臨時和歌山縣廳ヲ命ス

日給四拾五錢ヲ給ス

内務部地方課勤務ヲ命ス

警部

貴志得彌太

通

垣内正信

技師

栗田參

同

高井二郎

屬

大越直一

各

同

中村健

同

宇田隆三

同

吉田熊次郎

技手

今泉敏

同

鎌田楠一

農業技手

平原篤隆

同

坂東兵一

同

島友一

海草郡書記

桂田正

那賀郡書記

服部重一

伊都郡書記 木村彌三郎

日高郡書記 岡本利三郎

有田郡書記 石川重郎

西牟婁郡書記 桑原豐藏

東牟婁郡書記 櫻井信松

和歌山市書記 淺井茂侃

大正八年度經濟基本調査委員ヲ命ス

○大正八年八月四日

鈴木嘉壽一

任和歌山縣西牟婁郡書記給月俸拾八圓

○町村吏員異動

○大正八年七月二十一日認可

海草郡仁義村有給助役 野谷定八

○彙報

○官廳事項

○教員懲戒

西牟婁郡串本尋常高等小學校訓導

刀禰ヲゲン

右者職務上ノ義務ニ違背スル行爲アリタルヲ以
テ大正八年七月ヨリ向フ三ヶ月間月俸五分ノ一
ヲ減給セラレタリ

○昇任 本縣技手梅田治明ハ七月二十九日和歌
山縣技師高等官七等ニ叙セラレ(年俸參拾圓)ニ
昇任セリ

大正八年八月八日
和歌山縣報

一
清
葉

○生徒募集(奈良縣)

九月
入學 師範一部 募集

詳細ハ二錢切手封入本校ニ同合ハサルベシ
願書受付八月二十五日マデ

大正八年

奈良縣師範學校

長井

山縣

○長井

大正八年八月八日

大正八年八月八日

大正八年八月八日

大正八年八月八日印刷
大正八年八月八日發行
毎隔日大曜金曜日發行

一ヶ月定價
四十五

和歌山縣知事官房

印刷人
和歌山市四番丁壹番地
和歌山市四番丁壹番地
發行所
和歌山日日新聞社印刷部